



きりゅうおりじゆく
桐生織塾

—「織の文化」を間近で見て、触れて、学ぶ—
梅田町の古民家で楽しく手織りを体験

梅田町一丁目、日枝神社参道脇の古民家が、桐生織塾の「新天地」だ。静かな佇まいの建物に足を踏み入れると、立ち並ぶ織機に心が躍る。百年以上前の桐生の高機をはじめ、他の繊維産地から収集したものも含め、高機の数には実に9台。卓上機2台も含め、塾生は各機の特徴を活かしつつ、手織り作品の創作に励む。桐生織塾は平成2年に前塾長の武藤和夫氏が開塾し、現在は平成21年に引き継いだ新井求美塾長のもと、9名のメンバーが技術を学びつつオリジナルの手織り作品を紡ぐ。当初は梅田町にあつて桐生織物の歴史に大きな足跡を残す「成愛社」ゆかりの地を工房としていたが（平成23年7月号の当コーナーに掲載）、所有者の死去により移転を要し、平成30年から4年間は本町の桐生さくらやを拠点に活動。昨年4月より、塾生の伝手もあり現在の古民家を賃借、再び緑豊かな梅田町に工房を構えた。手織り技術の習得のみならず、デザインや使用する糸の選択など試行錯誤しながら、自由な発想でものづ

くり打ち込める環境も桐生織塾の醍醐味だ。複雑な作業などメンバー同士で助け合いつつ、休憩時間の交流も楽しみながら、個々のペースで緩やかな創作の時間が過ごせることも桐生織塾の魅力だと塾生は語る。長閑な時が流れる梅田町の古民家で、今日も桐生織塾のメンバーが、やさしい織音を奏でる。



【桐生織塾】

- 住所／桐生市梅田町1丁目479-1
- 電話／090-5215-9298
- 開塾日／毎週木・金・土曜日
- 開塾時間／10：00～16：00
- HP／<http://orijyuku.com/>
- @kiryuorijuku

体験料金（材料費込み）

- 紐織り／1,500円
- テーブルセンター等／3,000円
- ストール／5,000円